

▼平成25年第2定例会で所信表明を述べる澤井市長 (6月7日)



恵我小学校で地域ぐるみの防災訓練を実施しました。



●消防力の強化
消防署西出張所開所に伴い、救急隊の増隊による救命力の向上や、防火・防災体制の充実を図ります。

また、市民の皆様の命と財産を守る消防力の強化と、複雑多様化する災害に対応するため、新たな防災拠点として、消防署西出張所を今年の秋に開所し、救急体制を3台運用から4台運用に増隊することにより救命力の向上を図ってまいります。

さらに、経済事情や高齢化などに伴い、適正に管理されない空き家が増えている中、このことが原因となり事件や事故が発生し、また、火災など災害時の被害を招くおそれがあります。空き家の実態把握や空き家の管理適正化への法的対応を図り、管理不十分な空き家などの対策を進めてまいります。



1 安心・安全なまち日本一に

1つ目は、「安心・安全なまち日本一」です。

私は市長就任以来、「日本一・健康で安心・安全なまち」の実現に取り組んでまいりました。

大阪で初となる「セーフコミュニティ」の認証取得について、あらゆる課題の「検証」と市民の皆様との「協働」により取り組みを進めております。

そして、本年11月には、その取り組みの評価がなされ、認証をいただけるものと確信いたしております。認証取得後につきましても、引き続き、協働のまちづくりによるセーフコミュニティの取り組みを推進してまいります。

澤井市長 第2ステージがスタート

澤井市長所信表明

★はじめに

5月19日に行われた松原市長選挙において、再任された澤井宏文市長は、6月7日、平成25年第2回定例会において、第2ステージの更なるチャレンジとして、「キラメクまちづくり」の実現のための3つの日本一にむけた取り組みなどを表明しました。

今月の特集は、その内容をお知らせします。



本日ここに、市長2期目の選挙後、初の松原市議会定例会にあたりまして、市政に対する私の考えを申し述べるところ、既に年度当初の「施政方針」で述べており、本格予算も編成しているため、ここで重ねて申し上げることはありませんので、この機会には、次の4年間の所信の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

先の市長選挙において、市民の皆様から信託を受け、松原市長として、再び市政を担当させていただくこととなりました。

このことは、セーフコミュニティの認証取得に向けた取り組みを始め、「日本一健康で安心・安全なまち」の実現など、私が市長に就任してから取り組んできた施策に対して、市民の皆様から全面的なご理解を得られたものと考えております。

これまで以上に多くの方々が、住んでよかった、住んでみたい、ずっと住み続けたいと感じられ、そして、次の時代を担う子どもたちに自信をもって引き継げる、そんなまちづくりを責任ある議員の皆様、そして市民の皆様とともに進めていく所存です。

どうか4年間、ご理解並びにご支援賜りますようお願い申し上げます。



さて、この4年間、「日本一・健康で安心・安全なまち」の実現に向け、「自主性・自立性のあるまちづくり」「安心・安全なまちづくり」「市民協働のまちづくり」「将来を見据えたまちづくり」の4つのまちづくりを柱として、スピードと行動力を持って市政運営に取り組んでまいります。

第2ステージとなる次の4年間もこのスタンスで、「更なるチャレンジ」をすすめてまいります。

第2ステージは「キラメクまちづくり」の実現のため、

- 安心・安全なまち日本一に！
- 長生き日本一に！
- 便利・清潔なまち日本一に！

の3つをお示しし、今後4年間全力を挙げてその実現に努めてまいります。

2 長生き日本一に

2つ目は、「長生き日本一」です。

これからのまちづくりは、できる限り元気で、病気にかからずに、スポーツや文化・芸術活動などの生涯学習に取り組まれる方々をいかにバックアップするのが、大きなテーマだと考えております。

本市には9つの老人センターがあります。多くの元希者の皆様が利用され、活動内容も非常にアクティブで、正に元希者の集う、コミュニティ施設だと実感しております。

このことは、本市の目指す、健康（イコール）予防という観点から、更に充実させていくべきであると考えております。

今後、「仮（元希者センター）」を建設し、健康づくりの場を拡げることにより、生涯学習の活発なまちを目指してまいります。

●（仮）元希者センター
子どもから元希者の皆さんが共に集い活動できるセンターとして、生涯学習の拠点となる施設の建設を目指します。



3 便利・清潔なまち日本一に

3つ目は、「便利・清潔なまち日本一」です。

働きやすく子育てしやすいまちを目指し、民間活力の導入により生まれた財源を民間へ振り向け、安全対策はもちろん、定員を増やすことにより、年間を通して保育所の待機児童ゼロに取り組みます。さらに、学童保育の対象年齢も拡充してまいります。

●学童保育の拡充
市長選挙でもお約束しました学童保育の拡充につきましては、この夏休み期間中は、支援学級に在籍する4年生の受け入れを行います。

年間待機児童ゼロに取り組みます。



ごみ処理につきましては、大阪市・八尾市・松原市の3市で一部事務組合を設立し、広域で処理することにより、永年の懸案課題を解決する時を迎えました。今後、恒久的なごみ処理体制が整うことで、市民生活が安心して送れるものと確信するとともに、広域化による財政的な効果が生み出されるものです。

また、たばこの吸い殻や空き缶などのポイ捨て、ペットのふんの放置については、抑止効果を向上させるべく、きれいなまちづくり条例を改正し、清潔できれいなまちを目指します。

★おわりに

以上、市政運営につきまして、私の所信の一端を申し述べさせていただきました。本市は、平成27年2月に市制施行60周年を迎えますが、一方で人口減少・高齢化の進展という課題を抱えております。

今後、松原市の未来をどのようにしていくのか、10年後、20年後に向けてどの様なまちづくりをしていくのか、良識と責任ある議員の

皆様をはじめ市民の皆様とともに、「まつばら」の新たな時代を職員と力を合わせて全力で切り拓いていく覚悟です。

最後に、市政運営への重ねてのご理解と協力をお願い申し上げます。市長の期目にあたりましての所信表明とさせていただきます。

どうぞ4年間よろしくお願ひ申し上げます。

